

平成30年度



# いのちの基金 活用報告書

横須賀市健康部

ごあいさつ

このたびは「いのちの基金」にご寄附をいただき、  
深く感謝いたします。

「いのちの基金」は、  
横須賀を「いのちを大切にすまち」にしたい、という思いから、  
平成 24 年度に創設しました。

みなさまのあたたかな想いのこもったご寄附は  
様々な事業に活用させていただき、  
「いのちを大切にすまち」を実現してまいります。

また、わたしは『誰も一人にさせないまち』を目指しております。  
「いのちの基金」は  
『誰も一人にさせないまち』を達成するためにも必要です。  
今後もみなさまのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、この活用報告書では、  
平成 30 年度の「いのちの基金」の積立額や、  
活用した事業などについてご紹介しました。  
有効に活用させていただきましたので、ご一読いただければ、幸いです。

横須賀市長 上地 克明

# 「いのちの基金」について

## 1 目的

「いのちの基金」は「いのちを大切にする都市 横須賀」の実現を目指して、市民のみなさまといのちの大切さを共有し、いのちを育み、守るための医療を支援する費用に活用することを目的に、平成24年度に創設しました。

## 2 シンボルマーク

「命」という漢字をモチーフに、人が寄り添い、思いやりのハートと、幸福を表す虹を描いたデザインで、市内在住の奥野和夫さんの作品です。



## 3 「いのちの基金」を活用する事業

医療環境は、年々変化します。このため、「いのちの基金」を活用する事業は、その時々々の医療ニーズに対応できるよう、また、「いのちの基金」の設立趣旨である「いのちを守り、いのちを育む医療を支援する」という視点から充当事業を検討しています。

平成30年度に充当した事業の一部をご紹介します。

### 看護師確保対策事業

#### (1) 看護師確保対策事業とは

看護師の養成数は増えてきていますが、神奈川県の人人口あたり看護師は、全国的に見て低い状況が続いています。

横須賀市では市内における看護師不足の解消を図ることを目的に、看護師確保に関する様々な事業を実施しています。

#### (2) 基金の活用事業内容

- |                     |     |
|---------------------|-----|
| ・看護師離職防止研修          | 2回  |
| ・看護職のための合同就職・進学説明会  | 2回  |
| ・看護職のためのキャリアカウンセリング | 20回 |
| ・男性看護師支援            | 1回  |
| ・潜在看護師復職支援研修        | 8回  |



## 不育症治療費助成事業

### (1) 不育症とは

不育症は、治療によって85%の不育症患者が出産にたどりついていることがわかっています。

しかし、検査や治療には、健康保険が適用されないものが多く、高額な医療費がかかります。経済的な負担を少しでも軽くし、あたらしい「いのち」を授かることができるよう、横須賀市では、平成24年度から不育症治療費の助成事業を開始しました。

### (2) 基金の活用実績

助成した件数	9件
--------	----

## 特定不妊治療費助成事業

### (1) 特定不妊治療とは

不妊治療のうち、体外受精や顕微授精による治療を特定不妊治療と言います。特定不妊治療は、1回の治療費が高額で保険適用外のため、その経済的負担が重いことから、平成16年度から女性の治療費に要する費用の一部を助成し、平成28年度からは男性特定不妊治療費助成制度にいのちの基金を活用しています。

### (2) 基金の活用実績

助成した件数	2件
--------	----

## 骨髄提供希望者登録推進事業

(1) 骨髄提供希望者登録とは

横須賀市では、平成 29 年 4 月 1 日から、骨髄・末梢血幹細胞提供者（ドナー）の経済的な負担を軽減し骨髄移植等の推進を図るため、ドナーとなった市民及びドナーが勤務する事業所を対象に、助成金を交付しています。

(2) 基金の活用実績

助成した件数	1 件
--------	-----

## 救急高度化推進事業

(1) 救急高度化とは

市民の救急に対するニーズの高まりや複雑多様化する救急業務に対応するため、救急隊員はより高度な応急処置の技術、知識を身につけなければなりません。

救急現場や搬送途上における応急処置の充実と救命率の向上のために必要な救急救命士の養成や、救急隊員が行う応急処置等の質を向上させ、救急救命士の処置範囲の拡大など救急業務の高度化を図るためのメディカルコントロール体制の充実を推進しています。

(2) 基金の活用実績

救急救命士の養成	2 件
----------	-----

## 「いのちの基金」の積立額

1 平成30年度に積み立てた額 2,372,865 円 (a)

－内訳－

いのちの基金へ直接いただいた寄附金	14 件	705,398 円 (ア)
17 か所の募金箱にいただいた寄附金		97,539 円 (イ)
ふるさと納税としていただいた寄付金	39 件	1,568,000 円 (ウ)

① 寄附金の合計 (ア) + (イ) + (ウ) 2,370,937 円

② 基金の運用利子 1,928 円

①+② 2,372,865 円

2 事業に活用した額 6,983,380 円 (b)

3 現在の基金残高 17,213,111 円

〔 昨年度末の残高	21,823,626 円
〔 取り崩し額 (a－b)	△ 4,610,515 円
〔 平成30年度末基金残高	17,213,111 円

いのちの基金は、将来の新たな医療ニーズに応えることができるよう、集められた寄附を全て使い切ってしまうのではなく、一部を積み立てることで、現在の医療を支援しつつ、将来の医療も支援できる基金にしています。

平成30年度末の基金残高は、

## 平成30年度のご寄附者 一覧

### 団体

国際ソロプチミスト横須賀 様  
横須賀三曲会 様  
横須賀商工会議所女性会 様  
横須賀ロータリークラブ 様

※ご寄附の際に、公表を希望しないとお申し出があった方は掲載しておりませんが、他に10名の個人の方からご寄附をいただきました。

※また、ふるさと納税として39件、市内の公共施設等に設置の募金箱にも多くのご寄附をいただきました。



ご協力ありがとうございました。

「いのちの基金」は、今後も、いのちを育み、守るための医療を支援する事業に活用していきます。引き続き、ご協力をお願いします。

令和元年 12 月

横須賀市健康部 地域医療推進課 地域医療政策係

住 所 〒238-0046 横須賀市西逸見町 1-38-11

ウェルシティ市民プラザ 3F

電 話 046-822-4751

メール [ga-hm@city.yokosuka.kanagawa.jp](mailto:ga-hm@city.yokosuka.kanagawa.jp)